

自己評価・外部評価 評価表

【回答者】

柏崎メディカルクリニック 長谷川 裕子様／類家四丁目民生委員 風張 久子様

柏崎・吹上地区 高齢者支援センター八戸市医師会 阿部 篤様

類家四丁目町内会長 類家 章義様

ひばりの里居宅介護支援事業所 川合 仁様

居宅介護支援事業所こなかの 古川 力様

回答率 100%

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼでき ている	できてい ないこと が多い	全くでき ていない		
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]									
(1) 理念の明確化									
①	サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				運営方針に記してある。 (一部抜粋) 地域との結びつきを重視し、ほかの関係機関との連携を図り、可能な限り自立した生活を営むことができるように援助する。お客様とその家族が安心して在宅生活できるよう支援している。	このまま継続して行ってください。(100%)
(2) 適切な人材の育成									
①	専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	○				管理者から職員に対して、会議や個人面談等を定期的 に実施し周知するように努 めている。	このまま継続して行ってください。(100%)
		3	運営者は、専門技術（アセスメント、随時対応時のオペレーター の判断能力など）の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組 みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している	○				職員の個別研修計画を立て、各々の目標の実現に向けた研 修に取り組んでい る。また、法人内の研修だけでなく外部の研修等の参加も積極 的に促している。	このまま継続して行ってください。(100%)

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼでき ている	できてい ないこと が多い	全くでき ていない		
		4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	○				管理者は半年に一度の面談により訪問スタッフの得意不得意を把握しており、お客様の性格や病状等を加味し配置を行っている。また、新規お客様の訪問内容が定着するまで、訪問スタッフの相談・報告内容に耳を傾け助言している。	このまま継続して行ってください。（100%）
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	○				毎月、会議を開催して情報共有に取り組んでいる。また連携ツールを使用することで詳細な状況を共有している。	このまま継続して行ってください。（100%）
(3) 適切な組織体制の構築									
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置（業務・シフトの工夫）を行っている	○				様々なシフトパターンを組んでおり、ご利用者様のその時々状況に応じたシフト調整を行っている。	このまま継続して行ってください。（100%）
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等（サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等）を、サービスの提供等に適切に反映させている	○				地域の方々から頂いた意見をもとに、誰でもわかりやすい記録やわかりやすい表現を保つように日々心がけサービスへの取り込みを行っている。	地域のどのような方から意見をいただいているのですか？（川合 仁様）

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼでき ている	できてい ないこと が多い	全くでき ていない		
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備									
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、（個人情報管理に配慮した上で）必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	○				タブレット端末を活用することで、お客様の状況だけでなく適宜必要な申し送りを 行い確認が順次に行えるような環境を構築している。	このまま継続して行ってください。（100%）
(5) 安全管理の徹底									
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている（交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等）	○				入社時に訪問スタッフ一人ひとりに災害時・緊急時の対応について研修を行っている。また、定期的に既存スタッフについても研修を行い、町内での避難訓練への参加も行っている。	このまま継続して行ってください。（100%）
②	利用者等に係る安全管理	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	○				個人情報保護方針を掲示している。また、データはシステムセキュリティにて管理されており、書庫については鍵をかけて管理している。	このまま継続して行ってください。（100%）
II 過程評価（Process）									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	○				利用者の状態に応じてアセスメントを行い、訪問回数や支援内容を適宜変更しながら対応している。	このまま継続して行ってください。（100%）
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	○				毎月の会議にて、お客様の情報共有を行っている。必要に応じて、介護・看護両側面からのアセスメントを実施し共有している。	このまま継続して行ってください。（100%）

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼでき ている	できてい ないこと が多い	全くでき ていない		
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	○				必要な支援内容をアセスメントし、看護職・リハ職の意見を含め、自立支援を重点に置いたアセスメントに取り組んでいる。	このまま継続して行ってください。（100%）
		14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている	○				重度化予防のためにリハ職とも連携しながら健康管理等、適宜アセスメントを行い、お客様や家族様のニーズを捉え、それに合わせた計画の作成を心掛けている。	このまま継続して行ってください。（100%）
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し									
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				緊急コールやお客様の状態の変化に応じて訪問回数を調整しており、適宜担当ケアマネージャーと相談している。	このまま継続して行ってください。（100%）
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	○				モニタリングにて継続的に状況変化を把握し、適宜サービス内容の見直しを行っている。	このまま継続して行ってください。（100%）
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供									
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている	○				お客様の状態に合わせ、看護職・介護職それぞれの役割を話し合い対応できている。	このまま継続して行ってください。（100%）

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼでき ている	できてい ないこと が多い	全くでき ていない		
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	○				月1回のアセスメントとモニタリングを通じて、都度医療的な視点からの指導助言を受けている。	このまま継続して行ってください。（100%）
(4) 利用者等との情報及び意識の共有									
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	○				サービス開始前に、重要事項説明書及び説明用チラシ・緊急装置を用いて説明をし、本サービスの趣旨をご理解した上、納得・理解を得られてからサービス導入している。	このまま継続して行ってください。（100%）
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	○				サービス内容についてはお客様ご本人及びご家族様の同意を得てサービスを行うように心掛けている。	このまま継続して行ってください。（100%）
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	○				緊急性や状況に応じて状態悪化が予測される時は、ご家族様へ説明しサービスの内容や回数の調整を行っている。	このまま継続して行ってください。（100%）

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼでき ている	できてい ないこと が多い	全くでき ていない		
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
①	利用者等の状況 の変化について の、ケアマネ ジャーとの適切 な情報共有及び ケアプランへの 積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利 用者へのサービス提供状況、 心身の機能の変化、周辺環境 の変化等に係る情報が共有さ れ、サービスの提供日時等が 共同で決められている	○				状況変化等に応じて、速や かにケアマネジャーへの 連絡を行っている。	状況変化時は、積極的に サービス等の提案をケアマ ネにしてほしいです（川合 仁様）
		23	計画の目標達成のために、必 要に応じて、ケアプランへの 積極的な提案（地域内の フォーマル・インフォーマル サービスの活用等を含む）が 行われている	○				計画の目標達成に向けて、 お客様が抱えている問題に 合わせた各種必要なケアプ ランについて、相談・提 案・実行している。	このまま継続して行ってく ださい。（100%）
②	定期的なアセス メント結果や目 標の達成状況等 に関する、多職 種への積極的な 情報提供	24	サービス担当者会議等の場を 通じて、利用者等の状況や計 画目標の達成状況について、 多職種への情報提供が行われ ている	○				アセスメント実施報告書を 用いて、関連機関（医師・ 薬剤師・担当ケアマネー ジャー）に報告・連絡を図 り、情報共有ができてい る。	このまま継続して行ってく ださい。（100%）
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
①	利用者の在宅生 活の継続に必要 となる、利用者 等に対する包括 的なサポートつ いての、多職種 による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必 要となる、包括的なサポート （保険外サービス、イン フォーマルケア等の活用を含 む）について、必要に応じて 多職種による検討が行われて いる（※任意評価項目）						

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					
				できて いる	ほぼでき ている	できてい ないこと が多い	全くでき ていない		
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている（※任意評価項目）						
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている（※任意評価項目）						
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案									
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	○				当社ホームページに議事録などを公開して閲覧できるようにしている。ホームページを閲覧できない方については、ファイルに保存し必要時に閲覧ができるようにしている。	ファイル保存の内容を見せてもらいたい（類家 彰義様）

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント	
				実施状況						
				できて いる	ほぼでき ている	できてい ないこと が多い	全くでき ていない			
		29	当該サービスの概要や効果等 についての、地域における正 しい理解を広めるため、積極 的な広報周知が行われている		○			関係機関（病院や居宅介護 支援事業所）より説明依頼 があれば資料等を郵送また は電話やFAXの送付等を通 じて説明を行っている。市 内の病院等のフロアに定期 随時のQ＆Aのチラシを設 置している。今後は更によ り広範に周知を行っていく ことが課題と感じている。	誰でも（認知症の方等）簡 単にサービス等の情報が理 解できるような情報発信を 期待します（川合 仁様）	
(2) まちづくりへの参画										
①	行政の地域包括 ケアシステム構 築に係る方針や 計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で 掲げている、地域包括ケアシ ステムの構築方針や計画の内 容等について十分に理解して いる	○				公開されている情報を確認 し、事業所内で情報共有し ている。	このまま継続して行ってく ださい。（100%）	
②	サービス提供に おける、地域へ の展開	31	サービスの提供エリアについ て、特定の建物等に限定せ ず、地域へ広く展開していく ことが志向されている	○				地域や場所の特定をせず、 住み慣れた在宅にてサービ スを提供し貢献している。	このまま継続して行ってく ださい。（100%）	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼでき ている	できてい ないこと が多い	全くでき ていない		
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等）が行われている（※任意評価項目）						
Ⅲ 結果評価（Outcome）									
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている		○			お客様の状態に合わせた計画を立てることにより、状態の維持・向上に努めている。	このまま継続して行ってください。（１００％）
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	○				定期的なモニタリングにより、相談できる関係性を構築している。生活の不安を解消し、お客様が安心して生活できている。	このまま継続して行ってください。（１００％）